

# Adobe® LiveCycle® - Workbench 10 のインストール

## **法律上の注意**

法律上の注意については、[http://help.adobe.com/ja\\_JP/legalnotices/index.html](http://help.adobe.com/ja_JP/legalnotices/index.html) を参照してください。

# 目次

## 第1章：このドキュメントの内容

1.1 このドキュメントの対象読者 .....	1
1.2 追加情報 .....	1

## 第2章：インストールの準備

2.1 Workbench のインストールの概要 .....	2
2.2 システムの前提条件 .....	2
2.3 アップグレードに関する考慮事項 .....	4
2.4 Designer のインストールに関する考慮事項 .....	4

## 第3章：Workbench のインストール

3.1 Workbench のインストールと実行 .....	6
3.2 プロセスのアップグレード .....	7
3.3 Workbench の Eclipse 機能のインストール .....	7
3.4 サーバーの設定およびログイン .....	8
3.5 タイムアウトの設定 .....	8
3.6 HTTPS 経由で接続するための Workbench の設定 .....	8
3.7 動的に生成されるテンプレート用のキャッシュ設定の指定 .....	9
3.8 Workbench のアンインストール .....	10

## 第4章：Adobe LiveCycle XDC Editor 10 の設定

# 第 1 章：このドキュメントの内容

このドキュメントでは、Adobe® LiveCycle® Workbench 11 のインストールと設定の手順を示します。このインストールプログラムは Adobe® LiveCycle® Designer 11 もインストールします。

## 1.1 このドキュメントの対象読者

このドキュメントは、インストール、設定、管理または Workbench のデプロイを担当している管理者または開発者を対象としています。アップグレードされた Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite (ES) Update 1 (8.2.x) および Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite 2 (ES2) プロセスをサポートするためのシステム設定に必要な情報も含まれています。このドキュメントで扱う内容は、Microsoft® Windows® オペレーティングシステムに関する十分な知識がある読者を想定しています。

## 1.2 追加情報

次の表に、Adobe® LiveCycle® Enterprise Suite 4 (ES4) の学習およびこの使用を開始する際に役立つ情報を示します。

情報	参照先
Workbench の手順に関する情報	<a href="#">Workbench ヘルプ</a>
LiveCycle、および LiveCycle を他のアドビ製品と統合するための方法に関する一般的な情報	<a href="#">LiveCycle の概要</a>
LiveCycle アプリケーション作成と、LiveCycle アプリケーションを Adobe® LiveCycle® Workspace 11 でテストするためのチュートリアル	<a href="#">Creating Your First LiveCycle Application</a>
LiveCycle に使用できるすべてのマニュアル	<a href="#">LiveCycle ドキュメント</a>
LiveCycle に統合できる他のサービスや製品	<a href="http://www.adobe.com/jp/">http://www.adobe.com/jp/</a>
現在のバージョンに関するパッチアップデート、テクニカルノート、および追加情報	アドビの販売代理店にお問い合わせください。

## 第 2 章：インストールの準備

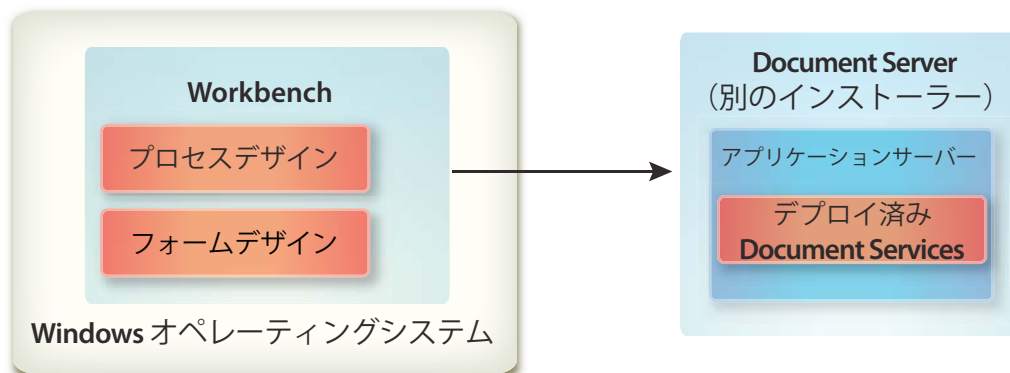
Workbench は、開発者およびフォーム作成者が自動化されたビジネスプロセスおよびフォームを作成するための統合開発環境（IDE）です。また、Workbench はそれらのプロセスおよびフォームで使用するリソースやサービスを管理するためにも使用されます。

### 2.1 Workbench のインストールの概要

次の図に、以下を含む Workbench のインストールについて示します。

- Workbench を使用した Process Design
- Designer を使用した Form Design

**注意：** LiveCycle では個別のインストールプログラムが必要です。詳しくは、『LiveCycle のインストールの準備（シングルサーバー）』ドキュメントを参照してください。



### 2.2 システムの前提条件

ここでは、ハードウェアおよびソフトウェアの要件およびサポートされるプラットフォームについて概要を説明します。

#### 2.2.1 ハードウェアおよびソフトウェアの最小要件

##### Workbench

最小要件として以下の要件が推奨されます。

- インストール用のディスク容量：
  - 680 MB (Workbench のみの場合)
  - 2.15 GB (Workbench、Designer およびサンプルアセンブリを 1 つのドライブにフルインストールした場合)
  - 一時インストールディレクトリ用に 400 MB (ユーザーの %temp ディレクトリに 200 MB、Windows 一時ディレクトリに 200 MB)

**注意：**これらの場所がすべて1つのドライブ上にある場合は、インストール時に1.5 GBの空き容量が必要です。一時ディレクトリにコピーされるファイルは、インストールが完了すると削除されます。

- ハードウェア要件：Intel® Pentium® 4 または AMD の同等の 1 GHz プロセッサ
- Workbench に統合されているコミュニティヘルプクライアントに必要な最新バージョンの Adobe AIR を、<http://www.adobe.com/jp/> からダウンロードしてインストールします。
- Java™ Runtime Environment (JRE) 6.0 Update 22 または 6.0 の以降の更新 \* **10 の新機能** \*
- 1024 X 768 ピクセル以上のモニター解像度、16 ビットカラー以上
- LiveCycle サーバーに対する TCP/IPv4 または TCP/IPv6 ネットワーク接続

**注意：**Adobe® Acrobat X がマシンにインストールされている場合は、アンインストールしてから Workbench をインストールしてください。Acrobat は、Workbench のインストール後に再インストールできます。

**注意：**Workbench をインストールするには、管理者権限が必要です。管理者以外アカウントを使用してインストールする場合は、適切なアカウントの資格情報が求められます。

## Designer

Designer の最新機能を使用するには、以下の最小要件が必要です。

- Designer 11 のすべての新機能を活用するには、最小の Acrobat X Pro Extended が必要
- Adobe® Flash® Player 10.2 以降。
- (オプション) Adobe® Flash® Builder™ 4.5 以降。
- (オプション) Adobe® Flex® 4 SDK (Designer に付属のフォームガイド (非推奨) コンポーネントをカスタマイズするために必要)。

**注意：**Designer インストーラーに含まれている Flex 4 SDK のみを使用してください。アドビの Web サイトから入手したバージョンの Flex SDK は使用しないでください。

## 2.2.2 サポートされているプラットフォーム

Workbench では、以下のプラットフォームがサポートされます。

オペレーティングシステム	アーキテクチャ
Windows XP Professional (Service Pack 2 以降)	32 ビット
Windows Vista Business (Service Pack 1 以降)	32 ビットおよび 64 ビット
Windows Vista Home Basic / Premium (Service Pack 1 以降)	32 ビットおよび 64 ビット
Windows Vista Ultimate (Service Pack 1 以降)	32 ビットおよび 64 ビット
Windows 2003 Server® (Service Pack 2 / R2 以降が付属)	32 ビットおよび 64 ビット
Windows 2008 Server (Service Pack 1 以降)	32 ビットおよび 64 ビット
Windows 7 (Home Basic / Premium、Professional、Enterprise)	32 ビットおよび 64 ビット

## 2.3 アップグレードに関する考慮事項

Workbench インストーラーによって新しいディレクトリが作成され、新しいファイルがすべてインストールされます。このため、Workbench は、既存の Workbench がインストールされている同じマシンで共存できます。LiveCycle 8.2.x プロセスおよび LiveCycle 9.x プロセスは LiveCycle にアップグレードでき、アップグレードされた LiveCycle で期待どおりに動作します。ただし、これらのプロセスおよびこれらに依存するアセットは、デプロイする前にアップグレードする必要があります（7 ページの「[3.2 プロセスのアップグレード](#)」を参照）。

Workbench のインストールが適切に動作していると判断したら、Workbench をアンインストールすることができます（10 ページの「[3.8 Workbench のアンインストール](#)」を参照）。

## 2.4 Designer のインストールに関する考慮事項

Workbench のインストールには、対応する Designer（英語版のみ）がデフォルトで含まれています。Workbench インストールアプリケーションがコンピューター上で既存バージョンの Designer を検出した場合、インストールが終了することがあります。この場合、続行するには現在のバージョンの Designer を削除する必要があります。

次の表に、発生する可能性のある Designer のすべてのインストールシナリオと、Workbench をインストールするときに行う必要のあるすべてのアクションを一覧で示します。

現在インストールされている Designer 11 のバージョン	必要なアクション
Acrobat Pro または Acrobat Pro Extended（Designer が付属）	なし。Workbench のインストールで、Acrobat Pro または Acrobat Pro Extended と共にインストールされた Designer のインスタンスがコンピューター上で検出されます。  Designer 8.2.x や 9.0.x など、異なるバージョンの Designer は同じシステム上で共存できません。Acrobat 10 Pro または Acrobat 10 Pro Extended と共にインストールされた Designer のバージョンをアンインストールする必要はありません。
Designer（スタンドアロン）	なし。Workbench に付属する Designer のバージョンは英語版のみです。Workbench インストーラーでは、新しいバージョンの Designer は再インストールされません。代わりに、Workbench インストーラーにバンドルされている更新バージョンにパッチが適用されます。これにより、ローカライズバージョンの Designer を Workbench 内で使用することができます。

### 2.4.1 Designer（スタンドアロン）をアンインストールするには：

- 1 スタート／設定／コントロールパネル／プログラムの追加と削除を選択します。
- 2 「現在インストールされているプログラム」リストで、「Adobe LiveCycle Designer 11」を選択します。
- 3 「削除」をクリックして「はい」をクリックします。

### 2.4.2 Windows 7 で Designer（スタンドアロン）をアンインストールするには：

- 1 スタート／設定／コントロールパネル／プログラムと機能を選択します。
- 2 「現在インストールされているプログラム」リストで、「Adobe LiveCycle Designer 11」を選択します。
- 3 「削除」をクリックして「はい」をクリックします。

### 2.4.3 Acrobat Pro または Acrobat Pro Extended に付属の Designer をアンインストールするには：

- 1 スタート／設定／コントロールパネル／プログラムの追加と削除を選択します。
- 2 「現在インストールされているプログラム」リストで、「Adobe Acrobat Pro」または「Adobe Acrobat Pro Extended」を選択します。
- 3 「変更と削除」をクリックして「次へ」をクリックします。
- 4 「変更」をクリックして「次へ」をクリックします。
- 5 「Adobe LiveCycle Designer 11」を選択して「この機能を使用できないようにします」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 「更新」をクリックして「完了」をクリックします。

### 2.4.4 Windows 7 で Acrobat Pro または Acrobat Pro Extended に付属の Designer をアンインストールするには：

- 1 スタート／設定／コントロールパネル／プログラムと機能を選択します。
- 2 「現在インストールされているプログラム」リストで、「Adobe Acrobat Pro」または「Adobe Acrobat Pro Extended」を選択します。
- 3 「変更と削除」をクリックして「次へ」をクリックします。
- 4 「変更」をクリックして「次へ」をクリックします。
- 5 「Adobe LiveCycle Designer 11」を選択して「この機能を使用できないようにします」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 6 「更新」をクリックして「完了」をクリックします。



## 第3章：Workbench のインストール

この章では、Workbench をインストールする方法について説明します。

Workbench をインストールする前に、Workbench の実行に必要なソフトウェアとハードウェアが使用環境に含まれていることを確認してください (2 ページの「[インストールの準備](#)」を参照)。

### 3.1 Workbench のインストールと実行

ここでは、Workbench をインストールする方法について説明します。この手順は Designer、および Workbench の Eclipse 機能をインストールします。

#### 3.1.1 Workbench をインストールして実行するには：

1 次のいずれかのタスクを実行します。

- インストールメディアの %workbench ディレクトリに移動して、run\_windows\_installer.bat ファイルをダブルクリックします。
- Workbench をファイルシステムにダウンロードして解凍します。ダウンロード後、%workbench ディレクトリに移動して run\_windows\_installer.bat ファイルをダブルクリックします。

**重要：**Workbench インストーラーは、DVD またはローカルドライブからのみ実行できます。リモートサイトから実行することはできません。

2 ようこそ画面で「次へ」をクリックします。

3 使用許諾契約書を読み、「使用許諾契約書の条件に同意します」を選択して、「次へ」をクリックします。

4 (オプション) フォームを作成および変更するツールが必要な場合は、「Adobe LiveCycle Designer 11 のインストール」を選択します。

**注意：**Acrobat 10 と共にインストールされた Designer を引き続き使用するには、このオプションの選択を解除したままにします。

5 表示されるデフォルトのディレクトリをそのまま使用するか、「選択」をクリックして Workbench のインストール先ディレクトリを選択し、「次へ」をクリックします。

**注意：**インストールディレクトリのパスには、# (ポンド) および \$ (ドル) 文字を含めることはできません。

6 インストール前の概要を確認して、「インストール」をクリックします。インストールプログラムによりインストールの進行状況が表示されます。

7 インストールの概要を確認します。「Adobe LiveCycle Workbench 11 の起動」を選択して Workbench を起動し、「次へ」をクリックします。

8 リリースノートを確認して「完了」をクリックします。

9 コンピューターに以下のアイテムがインストールされました。

- **Workbench**：スタートメニューにショートカットフォルダーを保存するよう選択した場合にこのメニューから Workbench を起動するには、**すべてのプログラム / Adobe LiveCycle ES4 / Workbench 11** を選択します。詳しくは、「Workbench の使用」を参照してください。
- **Designer**：Designer は Workbench 内部からアクセスできます。詳しくは、Designer ヘルプの「はじめに」を参照してください。

- **Workbench プラグイン**：7 ページの「[3.3 Workbench の Eclipse 機能のインストール](#)」の手順に従ってください。
- **LiveCycle SDK**: SDK の使用の詳細については、「[Programming with LiveCycle](#)」を参照してください。

## 3.2 プロセスのアップグレード

LiveCycle ES Update 1 プロセスと LiveCycle ES2 プロセスは、アップグレードウィザードを使用して LiveCycle ES4 アプリケーションにアップグレードできます。詳しくは、「[既存のアーティファクトのアップグレード](#)」を参照してください。

## 3.3 Workbench の Eclipse 機能のインストール

オプションで、Workbench の機能を Eclipse に追加することができます。Workbench の追加処理は、Workbench のインストール後にできるようになります。例えば、JBoss の場合、次の場所にファイルが格納されます。

- Workbench\_DVD/additional/eclipse  
[www.eclipse.org/downloads/](http://www.eclipse.org/downloads/) から Eclipse 3.6 をダウンロードしてインストールします。

### 3.3.1 Workbench 用の Eclipse 更新機能の設定


Workbench では、最新バージョンの Eclipse を使用できる更新機能が用意されています。ただし、各ダウンロードファイルに以下の特定の追加モジュールが含まれていることを確認する必要があります。

Eclipse のバージョン	Workbench で必要なモジュール
Eclipse 3.6.x	<ul style="list-style-type: none"><li>• グラフィカル編集フレームワーク GEF [org.eclipse.gef.feature.group]：これは「グラフィカルモデリングフレームワーク SDK」[org.eclipse.gmf.sdk.feature.group] 内に含まれています。</li><li>• WST XML Core [org.eclipse.wst.xml_core.feature.feature.group]：これは「Eclipse XML Editors and Tools」[org.eclipse.wst.xml_ui.feature.feature.group] 内にあります。</li><li>• プラグイン「org.apache.commons.lang_2.3.0」[該当なし]：これは「Mylyn Task List (Required)」[org.eclipse.mylyn_feature.feature.group] 内にあります。</li></ul>

#### 3.3.1.1 Workbench の機能を Eclipse にインストールしてデプロイするには：

- 1 Eclipse を起動します。
- 2 **Help** / **Install New Software** を選択し、「**Add**」をクリックして Add Repository ダイアログを開きます。
- 3 Add Repository ダイアログで「**Local**」をクリックして、Workbench のインストールによってプラグインの ZIP ファイルが保存されたディレクトリを参照し、「**workbench-updatesite.zip**」を選択してから「**Open**」をクリックします。
- 4 次の画面に表示される手順に従って、Workbench の機能を Eclipse にデプロイします。

**注意**：「Warning: You are about to install an unsigned feature」メッセージを無視し、「**Install**」をクリックして続行します。

 Adobe LiveCycle Discovery プラグイン (Flash Builder 版) では、リモートエンドポイントを介して LiveCycle の一部であるサービス呼び出す Adobe Flex および AIR アプリケーションを、すばやく構築することができます。このプラグインのインストールおよび更新方法に関する情報は、アドビの Web サイト ([www.adobe.com/go/learn\\_flex4\\_sdp\\_en](http://www.adobe.com/go/learn_flex4_sdp_en)) から入手できます。

## 3.4 サーバーの設定およびログイン

Workbench を使用するには、通常は別のコンピューターで実行中の LiveCycle のインスタンスがある必要があります。LiveCycle にログインするには、ユーザー名とパスワード、およびこのサーバーの場所に関する詳細情報が必要です。

**注意：** EMC Documentum または IBM FileNet リポジトリプロバイダーを使用するように LiveCycle を設定している場合、LiveCycle Administrator Console でデフォルトとして設定されている以外のリポジトリにログインするには、ユーザー名を「*username@Repository*」と指定します。

## 3.5 タイムアウトの設定

デフォルトでは、Workbench は動作状況に関係なく 2 時間後にタイムアウトになります。タイムアウトの設定を編集するには、管理コンソールヘルプの「User Management の設定」の「詳細なシステム属性の設定」を参照してください。

## 3.6 HTTPS 経由で接続するための Workbench の設定


HTTPS 経由で Workbench を LiveCycle サーバーに接続するには、公開鍵を発行した認証局 (CA) が信頼できると Workbench が認識する必要があります。この証明書が信頼できるソースに由来すると認識されない場合、`[Workbench_HOME]\jre\lib\security` ディレクトリにある `cacerts` ファイルを更新する必要があります。

**注意：** `[Workbench_HOME]` は、Workbench をインストールしたディレクトリを表します。デフォルトの場所は `C:\Program Files (x86)\Adobe\Adobe LiveCycle Workbench ES4\workbench` です。

HTTPS には、証明書で指定されている名前を使用して接続してください。この名前は通常、完全修飾ホスト名です。

### 3.6.1 cacerts ファイルを更新するには：

- 1 Secure Sockets Layer (SSL) 証明書のコピーがあることを確認します。SSL サーバーを設定した管理者に問い合わせるか、または Web ブラウザーを使用して証明書を書き出します。

 証明書を書き出すには、Web ブラウザーを開いて管理コンソールにログインし、ブラウザーに証明書をインストールします。次にブラウザーから一時的な保存場所（または直接 `[Workbench_HOME]\jre\lib\security` ディレクトリ）に証明書を書き出します。

- 2 証明書を `[Workbench_HOME]\jre\lib\security` ディレクトリにコピーします。
- 3 コマンドプロンプトウィンドウを開き、`[Workbench_HOME]\jre\bin` に移動して、次のコマンドを入力します。

```
keytool -import -storepass changeit -file  
[Workbench_HOME]\jre\lib\security\ssl_cert_for_**certname**.cer -keystore  
[Workbench_HOME]\jre\lib\security\cacerts -alias example
```

説明：

- **changeit** : cacerts キーストアのデフォルトのパスワードです。
  - **certname** : 手順 1 で選択した証明書です。
  - **example** : 証明書用に選択したエイリアスです。この値は変更できます。
- 4 証明書を信頼するように求めるプロンプトが表示されたら、「**Yes**」と入力し、**Enter** キーを押します。次に、keytool が `cacerts` ファイルを `[Workbench_HOME]\jre\lib\security` ディレクトリに読み込みます。
  - 5 Workbench を終了して再起動し、変更を有効にします。

## 3.7 動的に生成されるテンプレート用のキャッシュ設定の指定

アプリケーションで、XFA コンテンツを自動的に更新することによって固有のテンプレートをすばやく生成する場合は、キャッシュ操作の以下の側面を考慮する必要があります。実際には、各トランザクションで新しい固有のテンプレートが使用されています。

Adobe® LiveCycle® Forms Standard 11 または Adobe® LiveCycle® Output 11 が、特定のフォームテンプレートのキャッシュ内のエントリを検索または更新する場合は、以下の複数のキー値を使用して、アクセスする特定のキャッシュエントリを探します。

- **テンプレートファイルの名前**：キャッシュされているフォームの固有のプライマリ識別子として使用される、テンプレートの場所およびファイル名です。
- **タイムスタンプ**：テンプレートファイルには、フォームの最終更新時間の確定に使用するタイムスタンプが含まれています。
- **テンプレートの UUID**：各テンプレートには、Designer により、フォームとそのバージョンに応じて固有の識別子 (UUID) が挿入されます。埋め込まれた UUID は、フォームが更新されるたびに更新されます。例えば、XDP テンプレートには次の内容が表示されます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>  
  
<?xfa generator="AdobeLiveCycleDesignerES_V8.2"  
  
APIVersion="2.6.7185.0"?><xdp:xdp xmlns:xdp=http://ns.adobe.com/xdp/  
  
timeStamp="2008-07-29T21:22:12Z"  
  
uuid="823e538f-ff6c-4961-b759-f7626978a223"><template xmlns="http://www.xfa.org/schema/xfa-template/2.6/">
```

- **レンダリングオプション**：キャッシュの内容は、固有のレンダリングオプションのセットごとにレンダリングフォームキャッシュ内に個別に保存されます。

Forms サービスは、ファイル名またはリポジトリの場所を参照するか、メモリ内で XML オブジェクトとしての値を使用することによって、テンプレートを受け取ります。

- **参照によって渡されるテンプレート**：コンテンツルートおよびファイル名を使用します。この方法を使用して、固有のテンプレートが、要求ごとに異なるファイル名で渡されると、ディスクキャッシュは無制限に増えて再利用できなくなります。これを防ぐには、固有のテンプレートは同じファイル名を使用して渡し、すべての要求で同じキャッシュが更新されるようにします。
- **値によって渡されるテンプレート**：theinDataDoc パラメーターを使用して、データと共に渡されるテンプレートのバイトを使用します。この方法を使用して、固有のテンプレートが、異なる UUID を指定して渡されると、ディスクキャッシュは無制限に増えて再利用できなくなります。これを防ぐには、すべてのテンプレートから UUID 属性を削除し、テンプレートのキャッシュが作成されないようにします。または、Null 以外の同一の UUID を渡すと、キャッシュオブジェクトは作成されますがすべての要求で同じキャッシュが更新されるようになります。

同様に、キャッシュが無制限に増えないようにするために、新しい LiveCycle API (renderHTMLForm2 および renderPDFForm2) を使用して動的に生成されるテンプレートのレンダリングについて、以下の要因を考慮します。

新しい API を使用する場合、テンプレートはドキュメントオブジェクトとして渡され、パッシブにするかしないかに基づいて Forms サービス内で処理されます。

UUID およびコンテンツルートがキャッシュのキーとして機能するパッシブにしたドキュメントの場合は、以下の側面を考慮します。

- UUID が含まれないパッシブにした入力テンプレートに対しては、キャッシュは作成されません。

- UUID とコンテンツルートが同一の、パッシブにした複数の入力テンプレートが渡される場合は、同じキャッシュが上書きされます。

ファイル名およびコンテンツルートがキャッシュのキーとして機能する、パッシブにしていなドキュメントの場合は、以下の側面を考慮します。

- パッシブにしていない入力テンプレートの場合、キャッシュは、ドキュメントの生成元となったコンテンツルートとファイル名に依存します。コンテンツルートとテンプレートのファイル名が同じ要求についてのみ、同じキャッシュが使用されます。

動的に生成されたテンプレートが Forms サービスに渡される時、以下のベストプラクティスによってにキャッシュが無制限に増えないようになります。

- UUID を削除するか、動的に生成されたすべてのテンプレートで同一の UUID を渡します。
- テンプレートのバイト、またはディスク上の同じファイル名からドキュメントを生成します。

## 3.8 Workbench のアンインストール

Windows XP では、コントロールパネルのプログラムの追加と削除機能を使用して、アンインストーラーを起動します。Workbench および Designer アプリケーションには、個別のアンインストールプログラムがあります。

Windows Vista では、スタート/コントロールパネル/プログラム/プログラムと機能をクリックします。「**Adobe LiveCycle ES4 - Workbench 11**」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

Windows 7 では、スタート/コントロールパネル/プログラムと機能をクリックします。「**Adobe LiveCycle ES4 - Workbench 11**」を選択し、「アンインストール」をクリックします。

## 第 4 章: Adobe LiveCycle XDC Editor 10 の設定

XDC Editor を使用すると、ネットワークプリンターの管理者は XML Forms Architecture Device Configuration (XDC) ファイルの作成および変更ができます。XDC ファイルには、プリンターの機能が記述されます。例えば、プリンター言語、用紙サイズとトレイ位置との関係付けなどが記述されます。

ネットワークプリンターの管理者が XDC Editor を使用する前に、サンプルの XDC ファイルを配置し直して、『**XDC Editor** を使用したデバイスプロファイルの作成』を確認してください。

サンプルの XDC ファイルを入手するには：

- 1 LiveCycle サーバーで、[LiveCycle root]\sdk\samples\Output\IVS から XDC フォルダーを探します。
- 2 このフォルダーの内容を、Workbench または Eclipse システムからアクセス可能なディレクトリにコピーします。

XDC Editor のヘルプを入手するには：

- 1 LiveCycle ドキュメントの Web サイトへ移動します。
- 2 「開発」タブをクリックし、「Adobe® LiveCycle® XDC Editor 10 を使用したデバイスプロファイルの作成」へ移動します。xdc\_editor\_help\_web.zip ファイルをダウンロードし、「お読みください」ファイル内の手順に従ってヘルプファイルをインストールします。